

主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善について（小・中国語） ～令和3年度鹿児島学習定着度調査の結果から～

義務教育課

小学校

令和4年1月に実施した鹿児島学習定着度調査では、小5国語科の平均通過率は72.3%であり、このうち「基礎・基本」の問題については74.0%、「思考・表現」の問題については69.5%という結果でした。平均通過率が目標としていた7割を超え、定着が期待される問題を確実に正答できるようになったと考えられます。

「基礎・基本」については、ことわざについての問題の定着が昨年度までは課題（通過率57.1%）でしたが、今回は通過率が90%となり、向上しています。

「思考・表現」については、依然として記述式の問題において課題が見られました。特に今回は、情報と情報を関係付けて、必要な情報を集める問題の通過率が低く表れています。

特徴ある問題から

④ 三の2

情報と情報の関係について理解することができているかを問う問題。 **通過率 36.3%**

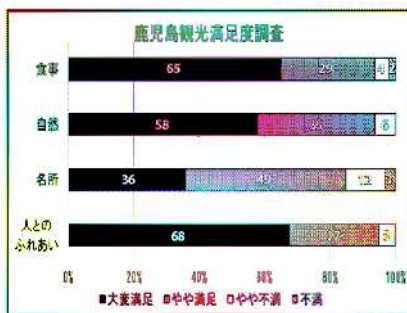
表とグラフを関係付けて考え、発表原稿の内容に当てはまる言葉を抜き出す問題。

ある「こと」をうれしく思いました。
位にはなかつたけれど、六十パーセントをこえる人が大変満足と答えているものがあり、それが鹿児島の上

鹿児島をおとずれる楽しみ（複数回答）

食 事	黒ふた料理・黒牛料理・ラーメン	22人
自 然	桜島・霧江湾	18人
名 所	西郷隆盛像など	13人
温 泉	砂むし温泉体験	11人
街歩き	天文館・中央駅周辺	7人
しせつ	水族館・動物園など	9人

【資料1】



【資料2】

木村さんの【発表の様子】の波線部分は、何を表していますか。資料2から抜き出さない。

学習指導要領解説から

本問題は、発表原稿の内容（文章）と、スライドの内容（グラフ）を関係付けて答える問題です。「知識及び技能」の「情報の扱い方に関する事項」の「情報と情報との関係」に関する内容です。

授業改善のポイント

「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の授業では、「知識及び技能」の「情報の扱い方に関する事項」を意識しながら指導しましょう。特に「情報と情報との関係」では、様々な情報の中から原因と結果の関係を見だし、結び付けて捉えさせることが大切です。

- 複数の情報を関係付けて答えるような発問をしましょう。
 - (例1) A児の意見とB児の意見、C児の意見が出ている場合、どこが共通していて、どこが異なるのかを検討する場面を位置付けます。
 - (例2) 非連続型テキスト（グラフや表）と、それを説明した文章を提示し、文章に書かれている内容は非連続型テキストのどこを指すかを問います。
- 国語以外の教科でも、非連続型テキストと文章とを関係付けた取組を行います。
 - (例1) 非連続型テキスト（グラフ等）を提示して、このグラフから分かることを文章化させます。
 - (例2) 非連続型テキスト（グラフ等）では、標題、単位、変化しているところに着目させ、特に変化しているところを文章化させます。

中学校

令和4年1月に実施した鹿児島学習定着度調査では、中1国語科の平均通過率は73.6%でした。このうち「基礎・基本」の問題については73.4%、「思考・表現」の問題については73.8%という結果でした。中2国語科の平均通過率は77.3%であり、このうち「基礎・基本」の問題については77.8%、「思考・表現」の問題については76.7%という結果でした。中学校国語科においては、平均通過率が目標としていた7割を超え、定着が期待される問題を確実に正答できるようになったと考えられます。

「基礎・基本」においては、中1では熟語から正しい漢字を判断する問題に、中2では、形容詞の活用形や漢字の部首を問う問題に課題がありました。これらの課題は継続しています。

「思考・表現」については、中1では、段落の役割などを意識して、文章の構成を捉える問題、中2では、文章と資料とを結び付けて、その関係性を踏まえて、内容を解釈できるかを問う問題に課題がありました。

根拠の適切さを考えて、文を根拠として取り上げて、自分の考えをまとめる問題については、課題が継続しています。

特徴ある問題から

中2：4の三の2の② 通過率 43.8%

根拠の適切さを考え、自分の考えをまとめることができるかを問う問題

2 次は、本田さんが準備していた「おすすめ本の紹介カード」A、Bである。これらを読んだ上で、「おすすめ本の紹介カードについての話し合い」の流れに沿って、本田さんの□にふさわしい発言を次の条件に従って書け。

条件1 AかBのどちらかを選ぶかを一文目に書くこと。
条件2 二文目以降には、なぜそれを選んだのか、選んだ理由が分かるように、「おすすめ本の紹介カード」の中から表現を抜き出して「」で示しながら書くこと。

「話し合い」の流れを踏まえて、どのような紹介カードが良いか、カードに書かれている文を根拠として取り上げて、自分の意見を書く問題。

学習指導要領解説から

本問題は、「おすすめの本の紹介カード」について、どのような内容を紹介したらよいか、例として示してあるカードAとカードBから選び、話し合いの内容を踏まえて答える問題です。

「話すこと・聞くこと」の指導事項オに関わる内容であり、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる問題です。

授業改善のポイント

調査の結果から、自分の意見の根拠を文章から抜き出し、根拠を明確にして書くことに課題があることが分かります。昨年度も本調査において類似の問題を出しており、課題が継続している内容の問題です。そこで、特に以下のことに気を付けて指導しましょう。

- 1 自分の意見の根拠を叙述に求める指導を行いましょう。根拠の叙述を問う発問をしましょう。
(例1)「なぜそう考えるの。その考えは、どの文からそう思うの。」
(例2)「今の考えと同じだけど、根拠の文が異なる人はいるかな。」
(例3)「根拠の文は同じだけど、考えが異なる人はいるかな。」
- 2 自分の意見とその根拠となる文章中の叙述を明確にして、書かせたり発言させたりする活動を取り入れましょう。
(例1) 板書やワークシートにも根拠となる叙述と自分の考えを区別して書かせます。
(例2) 特に着目してほしい叙述については、色分けして板書するなどして、より叙述に着目させます。